

私たち、韓国チームは8月31日から12月25日にかけて、留学に行ってきました。到着した当日は、現地でお世話になる先生方を会い、銀行に行き、日本円を韓国ウォンに換金しました。寄宿舍で荷物の整理を行い、日用品の買い出しなどで時間が過ぎていきました。翌日、キョンヒ大学の入校式・クラス分けテスト・オリエンテーションがありました。最初は、違う学校から来た学生たちと仲良くなれるか自信がなかったのですが、友達をたくさん作るためにたくさん話しかけることができました。この初級1クラスは9月1日～18日（約3週間）という短いプログラムでした。しかし、日本に帰ってきても連絡をとる関係になれたことはとてもよかったです。

9月21日～25日は、国情の生徒だけで授業が行われました。文法を中心にライティング・リーディング・リスニングの授業を集中して行えたと感じています。

26日～10月1日はチュソクという日本でいうお盆のような大型連休がありました。韓国は、日本と比べて物価が低いためたくさん買い物をすることができました。

10月2日～12月11日は、一つクラスが上がり初級2になりました。韓国に行く前に弱1年間韓国語を学んでいたため、初級1はそんなに苦労しませんでした。初級2になると文法が同じなのに意味が複数あるものが出てきてなかなか苦労しました。

12日～18日までの一週間は、TOPIKのための授業が国情生だけで行われました。1級と2級は、今まで勉強してきた文法などで受かるので、3級以上を狙って勉強していきたいです。

この約4か月の間、午後は国情の生徒のための特別なプログラムでした。これは、金曜日以外ありました。月:セミナー 火:韓国の歌 水:特講 木:韓国の映画 の授業がありました。

私を担当してくれたトウミは、一つ上のダジョンオンニでした。とても優しく、毎回どこに行きたいか、なにをしたいか、などを私に聞いてくれました。オンニもK-POPが好きなので話が合いましたし、何より日本語を習っているということで日本語が話せました。漢江沿いの公園に行って夜景を見ながらチキンを食べたり、ボーリングに行ったり、毎週会うのが楽しかったです。

そして、韓国での授業の癒しとなったのは、大好きなK-POPでした。元々、音楽を聴いて歌詞を訳せるようになりたいと思い、韓国語を選択しました。友達とコンサートに行ったり、音楽番組の収録に参加したり、日本で簡単にできることではないことが簡単にでき、とても思い出に残りました。もちろんコンサートのMC、歌は韓国語だったため、聞き取れないところがあるととても悔しくて、それを理解するためにたくさん単語を勉強したりしました。そのため、9月に行った公演で理解できなかった部分も、12月の公演では、理解することができました。その上、日本語をしゃべれるスタッフさんに韓国語上手ですねと言われてとても嬉しかったです。